

令和3年度
第2回
「わたしの八坂」
フォト
コンテスト

八坂中学校生徒会
八坂地域づくり協議会

「わたしの八坂 2021フォトコンテスト」発刊に寄せて

大町市立八坂中学校長 片山ますみ

昨年に続き、「八坂フォトコンテスト」のアルバムができました。

コンテストを主催した生徒会役員の皆さん、審査に携わってくれた皆さん、そして何よりご応募くださった皆さんに深く感謝いたします。

今年度は、部門を設けたり、募集期間を二期に分けたりして、より多くの作品を応募いただけるように工夫しました。おかげで、多くの皆様にご応募いただき、それぞれの作品も素晴らしいものばかりでした。

私も、八坂中学校に勤めて2年目になります。毎日、学校や通勤路でうっとりするような八坂の風景に出会うことがあります。でも、カメラで撮っても今自分が見ている八坂の美しさには全然届かないのです。私が撮った写真はよくある野山の風景にしか見えません。

今回のフォトコンテスト写真を見ていると、八坂で暮らす方々が、毎日眺める風景の中から、八坂の自然や暮らしの営みや脈々と続く文化の最も素晴らしい一瞬を切り取って撮影されていることに気づきます。行き当たりばったりではない、偶然でもない、今ここでしか撮れない一枚になっています。

私も「自分の八坂」を見つけるぞ、とやる気の湧いてくるフォトコンテストになりました。

これからは、カメラを持ち歩いて、美しいものに歩みを止めて、しっかりと見ていきたいと思います。

このアルバムをぜひ多くの方々に手にしていただき、八坂のすばらしさの一端を感じていただきたいと思います。

最後に、八坂中学校をお支えくださったすべての方々、フォトコンテストの実施に向けてご尽力くださった方々、作品をお寄せ下さった方々に深く感謝を申し上げます。

地域の魅力～八坂でしかできないこと～

大町市立八坂中学校生徒会長 新山 民嘉

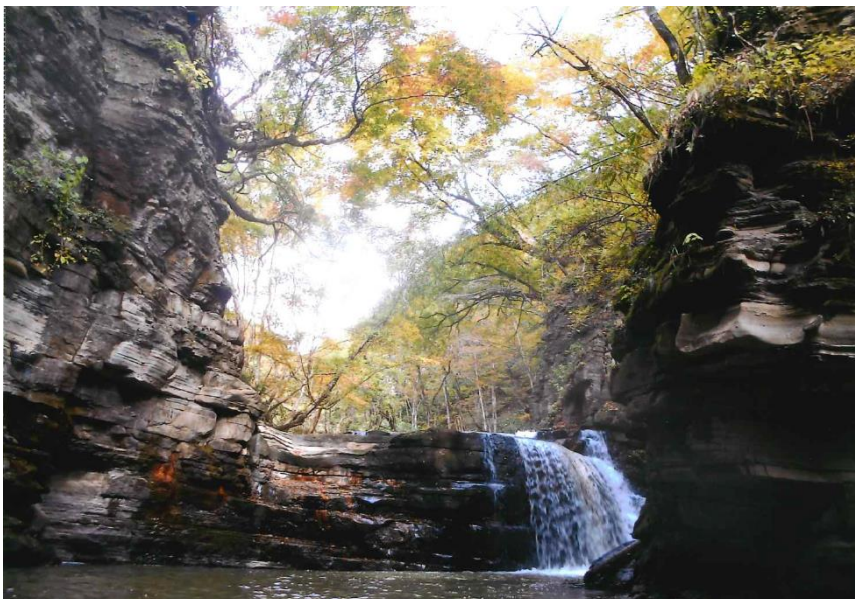
このようにフォトコンテストのアルバムが完成し、皆様の手元に渡ったことを大変嬉しく思います。地域の方や先生方、全校の皆さんの支えと協力によりこのような素晴らしいアルバムを仕上げることができました。

今年度は「第二回フォトコンテスト」ということで昨年度の先輩方の想いを引き継ぎ、4月頃から準備を進めてきました。アルバム発行に向けて活動してきた中で気づいたことがあります。それは「八坂にしかないものがある」ということです。フォトコンテストを開催するに当たって八坂地域協議会の小浪さんをはじめとする多くの方々の協力がありました。そして、昨年度の先輩方の想いがあり多くの作品が集まりました。フォトコンテストに限らず、学校行事にも沢山の方々が関わってくださっています。このように八坂には地域との深い繋がり・関わりがあります。いろんな方がいるからこそ八坂でいろんなことができる感謝を忘れずに過ごしてほしいと思います。

最後になりますが、今このアルバムを手にとっているあなた。あなたは今、八坂に対してどのような思いを抱いていますか。あなたがこのアルバムを閉じたとき、八坂はあなたにとってどのような場所になりますか。このアルバムがあなたと八坂を繋ぐ一冊になりますように。

～ 目 次 ～

最優秀賞	3
優秀賞	5
入選	7
特別賞	10
応募作品	11
八坂 PR ポスター	13
編集後記	14



神田の滝 北澤豊繁さん

【最優秀作品】

☆令和2年度第一回コンテスト

【最優秀賞】



これから始まる棚田の季節

吉原由紀さん

ハ坂で暮らして 吉原由紀

今回のフォトコンテストにおきまして最優秀賞に選ばれたことは、驚きと共にとても嬉しく思っております。昨年に続き2回目となるコンテストを開催してくださった八坂中学校の皆さん、地域の方が気軽に楽しめるこのような場を与えてくださりありがとうございました。

ハ坂で暮らし始めて7年の歳月が経ちました。初めてハ坂へ訪れた時は、1月で雪の多い年でした。切久保の棚田から見た雪景色の美しさに感動した事も今でも覚えております。7年の月日が経ってもその感動は薄れるどころか、日々の暮らしの中でふとした瞬間に、思わず時間が止まったかのように自然の雄大な景色に圧倒されることもあり、美しい自然の営みを体感できる暮らしの中で癒やされたり、心が洗われることもあります。

今回応募の作品も仕事から急いで帰宅する道すがら、あまりにも綺麗な田んぼの輝きに目を奪われ車を停めてスマホで撮りました。日々の暮らしの中で、ほんの一瞬でも自然に目を向ければ、このような自然の美しさに出会えるハ坂での暮らしが本当に好きです。美しい景色に出会うと自然と感謝の気持ちも湧いてくるので、写真を撮りながらありがとう～と呟っていることもあります、笑。

美しい自然とハ坂の暮らしがフォトコンテストを通じて広まり、皆さんの目に留まる機会に参加できたことを心から感謝致します。

【優秀賞】 ～自然部門～

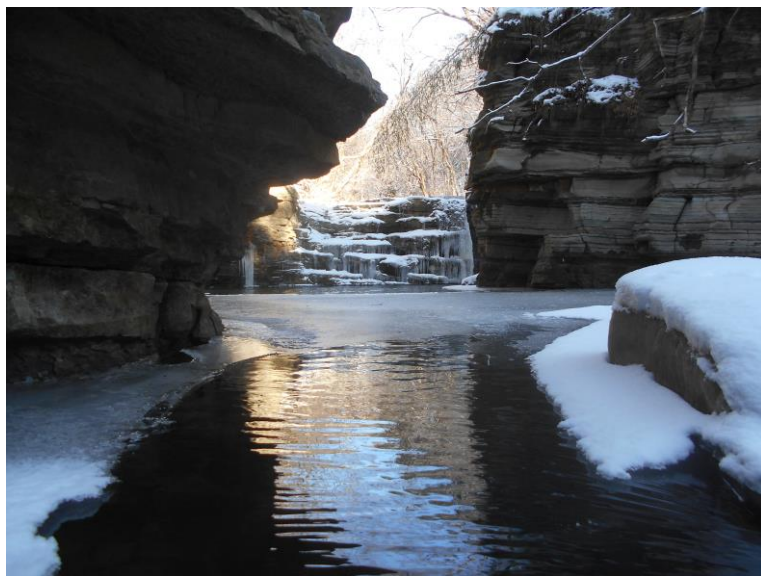


山への一本道

吉田歩未さん

冬の陣 (神出の滝の変)

北澤豊繫さん



日がのぼる八坂

稲垣有希さん

～暮らし・生活部門～



鷹狩山エコーハウスへ行こう

吉原一磨さん

八坂の秋 稲刈り

小野哲孝さん



～歴史・伝統文化部門～



神無月大晦日八坂を見守る

磨崖仏

小林晃英さん

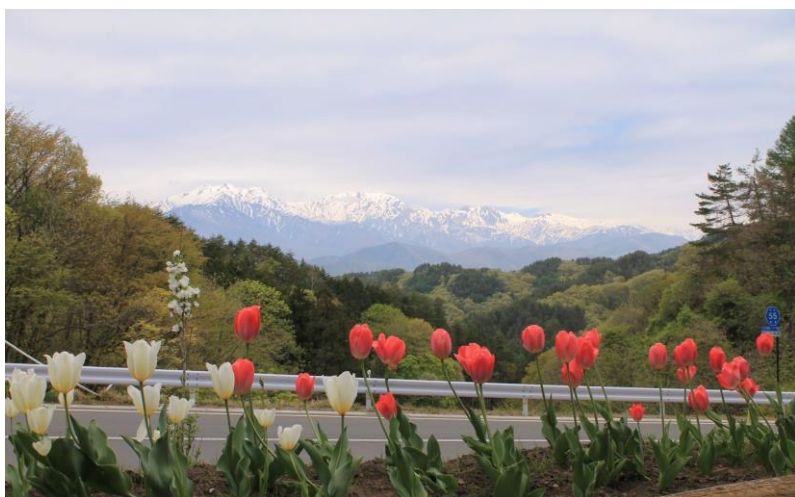
【入選】



ある夏の日 吉田 愛さん



明野の七色楓 桑原 功さん



相川展望台からの眺め 内山喜久夫さん

棚田と朝もや 小野 翼さん



小さな命 矢口紘史さん



朝霧と紅葉 奥原秀子さん

ダブルレインボー 横沢美里さん



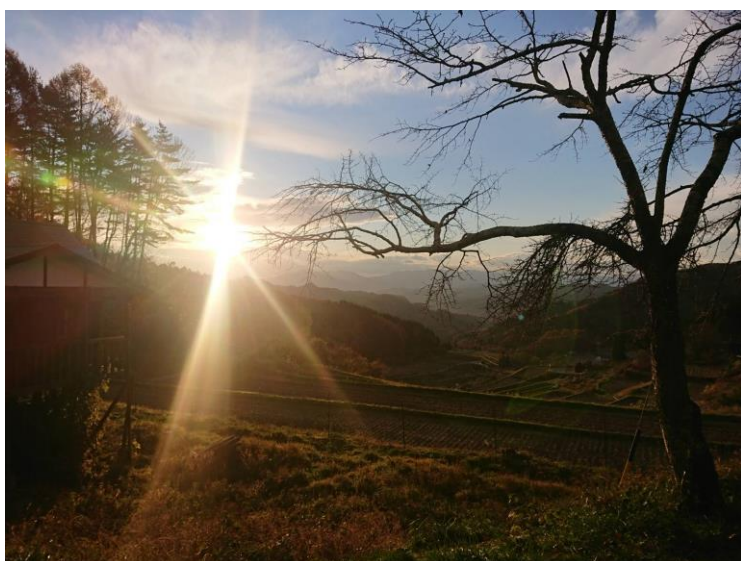
元旦の朝 桑原理恵子さん



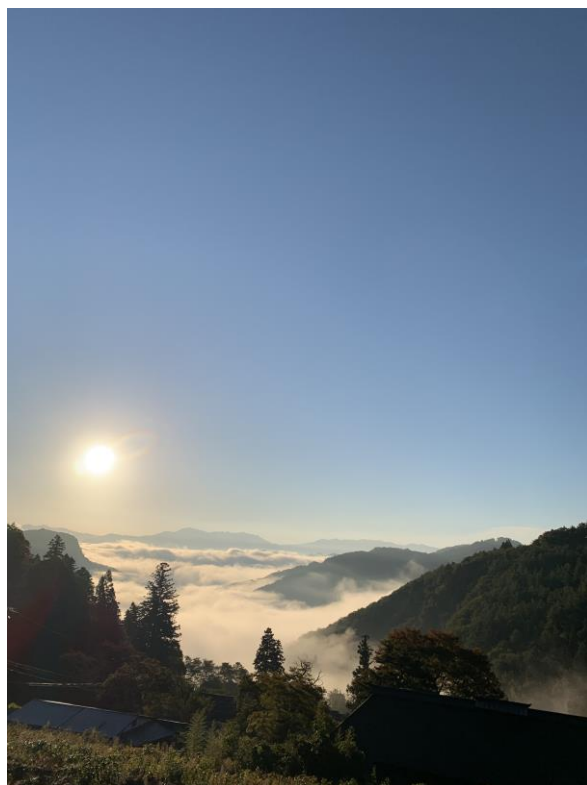


相川からのぞく北アルプスの夕日

松見博美さん



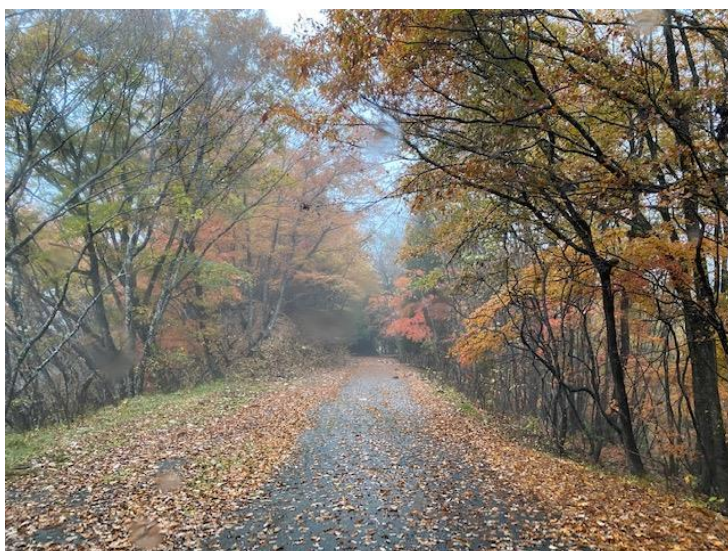
切久保棚田からの朝日 吉原千陽さん



里山の朝～雲海～

小野和歌子さん

山の一本道 吉田友祐さん



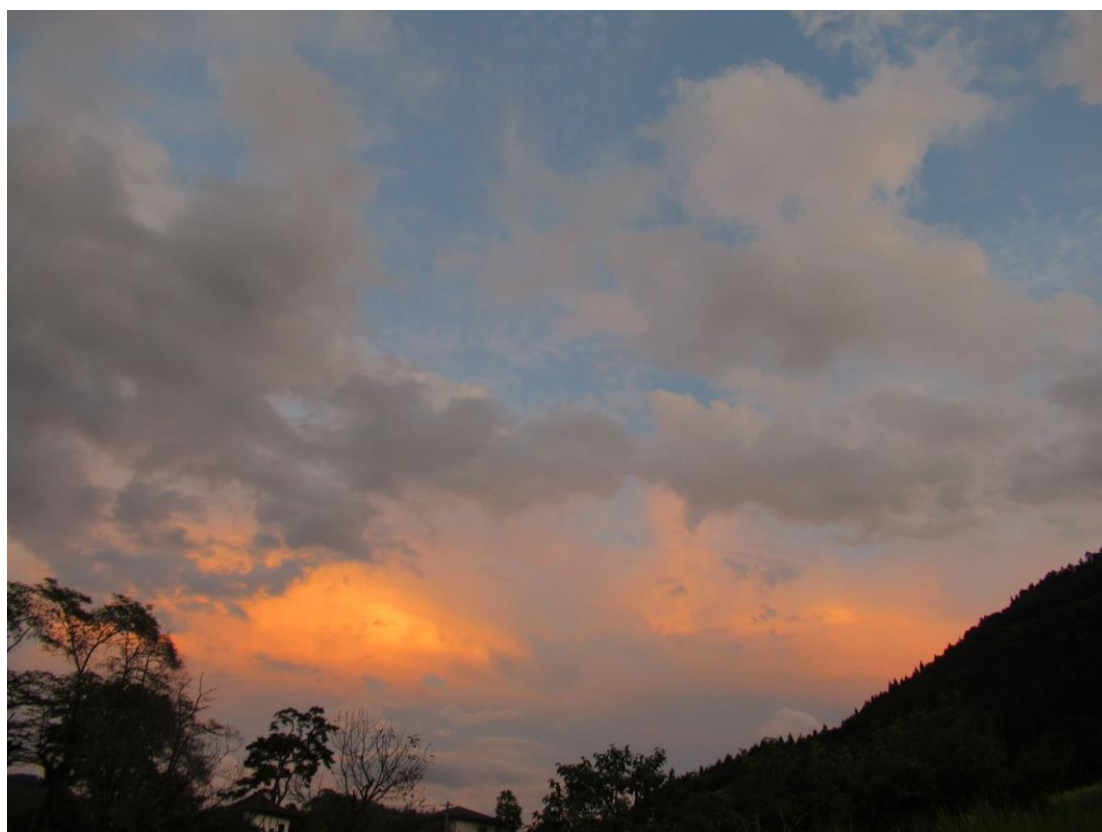
【特別賞】

☆八坂中学校長賞

野平ラベンダーまつりと親子
市河千春さん



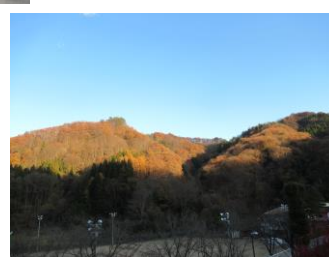
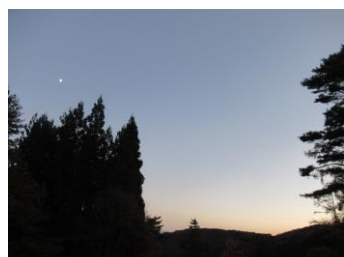
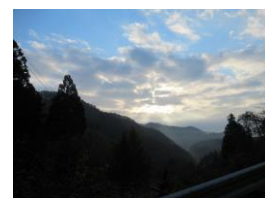
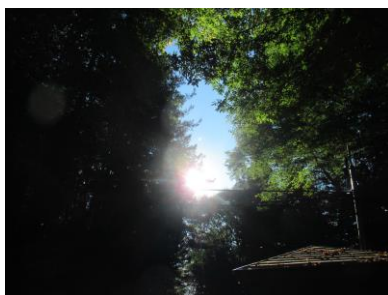
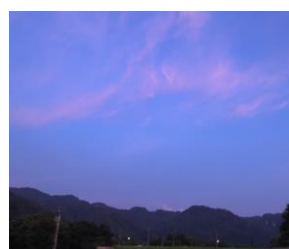
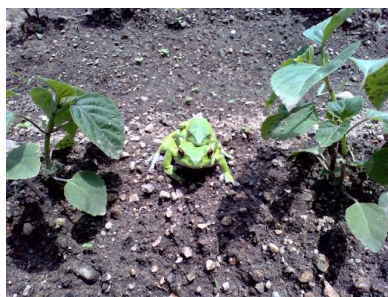
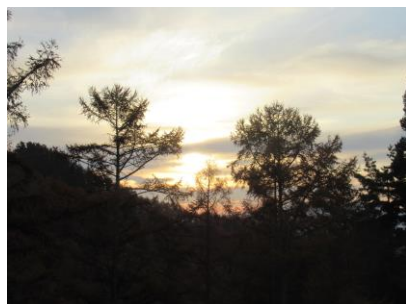
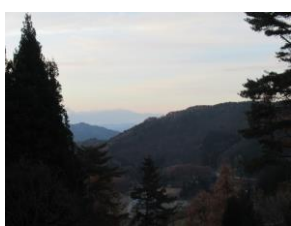
☆八坂中学校生徒会長賞

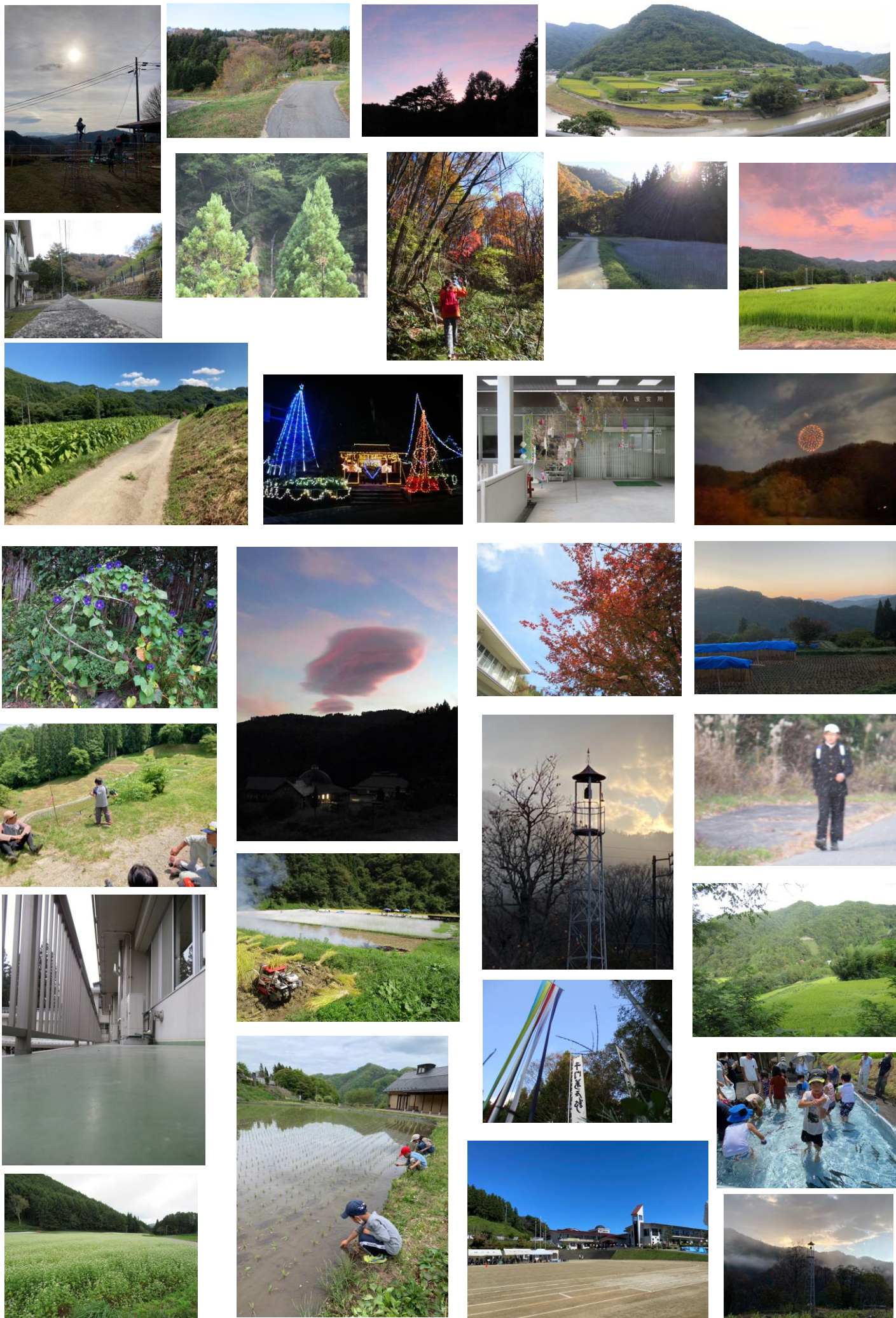


燃える夕日 弓削エマさん

＜ご応募いただいた作品の数々＞

たくさんのご応募、
本当にありがとうございました！





新八坂PRポスター完成！



今回はコンテストだけでなく、応募作品を使って
八坂の新しいPRポスターを作る企画を進め、約
20年ぶり?となる新ポスターが完成しました！

小野和歌子さんの『里山の朝～雲海～』を採用させていただきました。
朝陽に照らされた雲海と八坂の家並。その上に広がる果てしない青空
が大変美しく、印象的な作品ですね。

☆編集後記☆

私の見つけた八坂のいいところ！

何もなかったところ（かずひろ）

地域の方が優しい（たみか）

たくさんの動物と共存できること（つばさ）

地域の方が温かく見守って下さる（そよ）

先輩、後輩の壁がなくみんな優しいところ（ひなの）

野菜がおいしい（ちはる）

四季折々に景色が変わること（こや）



10年後の八坂って？

今と変わっていないでほしい（ひなの）

交通網が良くなっていて、魅力UPしている（つばさ）

コンビニ1軒できて（たみか）

野生動物と共生している八坂のままであってほしい（ちはる）

八坂PR効果で移住者が増え、人口2000人突破！（そよ）

スーパーが10軒建っている（かずひろ）

ずっとのどかで自然あふれる八坂であってほしい！（こや）

We Love

YASAKA!!

八坂フォトコンテスト 2021～「わたしの八坂」

八坂支所地域振興支援員 小浪和正

今年度のフォトコンテストは部門別に募集する、「新」八坂PRポスターを制作する、そのためにキャッチコピーも募集するなど更にパワーアップした内容になっていました。地域の関心も高く、お子さんをお持ちの友人は子供たちが身近な「いいところ」探しの眼を持ち八坂の良さを発見することが多くなったと喜んでおられました。キャッチコピーに選ばれた「なんもないですけど。」の「けど。」には「でも八坂にはなんか魅力があるんだよね」という思いがこもっているように思います。八坂で一番自慢できるのは「八坂の人」だと思っていますが、応募作品は、その“なんか魅力ある”部分や八坂の人の温かさを目に見える形にして見せていただいております、どれもが素晴らしく審査は難しかったのですが今年も関わったことに大変感謝しています。これからも八坂の「いいところ探し」を続けて行けたらいいと思っています。生徒の皆さん、学校関係者の皆さん、応募していただいた地域の方々、本当にありがとうございました。

<令和3年度「わたしの八坂」フォトコンテスト運営委員>

八坂中学校3学年

岡野 翼

小嶋胡弥

中里そよ

並木一優

新山民嘉

吉原千陽

宮坂妃夏乃

吉澤 正

洞澤 陸

八坂支所地域振興支援員 小浪和正さん

